

東京都立八王子桑志高等学校 令和8年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	国語	科目：	論理国語	単位数：	3	指導学年：	3
担当教諭：							
使用教科書	精選論理国語（東京書籍）		副教材	頻度順入試漢字の総演習三訂版			

年間指導目標：
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価方法											配当 時数
a:定期考査		b:パフォーマンス (実技・実習・課題)		c:小テスト等		d:自己評価		e:授業態度			
学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e		
1 学期	中 間 考 査	単元名【言葉を再考する】 読む『混じりあう言葉』 筆者の体験と考察の関係に 着目して読み、言語に対す る見方を広げる。 読む『言語と記号』 論の展開を意識して主張を 理解し、言語に対する筆者 の考え方と自己の考え方を 比較する。	(知)	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりするこ とを可能にする働きがあることを理解している。 文や文章の効果的な組み方や接続の仕方を理解してい る。	○	○	○	○		23	
			(思)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点 を明確にしながら要旨を把握している。	○	○		○			
			(態)	粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の 思考の道筋をつかみ、今までの学習を生かして自 己の知識と関連付けて自分の意見をまとめ、発表 しようとしている。		○	○	○	○		
1 学期	期 末 考 査	単元名【メディアを問い直す】 読む『おじいさんのランプ』 話題と主張の関係に着目して読 み、時代とともに変わっていく 本の在り方について考える。 探求『社会的な話題に関する文 章を読み、短い論文を書く』 社会的話題について論じた本を 読み、検証する。	(知)	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理 解を深めている。言葉には、言葉そのものを認識したり 説明したりすることを可能にする働きがあることを理解 している。	○	○	○	○		24	
			(思)	読むことにおいて、文章の構成や論理の展開、表 現の仕方について、書き手の意図との関係におい て多面的・多角的な視点から評価している。	○	○		○			
			(態)	積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、 学習の見通しをもって調べた身近な例を整理分析 して自己把握についての考えをまとめ他者に伝え ようとしている。		○	○	○	○		

2 学 期	中 間 考 査	単元名【他者のいる思考】 読む『原始社会像の真実』 時間的に異なる世界を題材とした評論を読み、社会の変遷をとらえる見方を身につける。 読む『ロボットは意志を持つか』 意志や事由について論じた評論を読み、哲学的な思考の方法を理解する。	(知)	論証したり、学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	○		23
			(思)	「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。	○	○		○		
			(態)	進んで本文中の複数の問いと具体例の配置に着目しながら、筆者独自の造語に基づく主張を読み取り、今までの学習を生かして自分とその人間関係について考えを深めようとしている。		○	○	○		
2 学 期	期 末 考 査	単元名【自己と社会】 読む『サッカーにおける「資本主義の精神」』 筆者のノベルサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 探求『資料を活用して論述する』 資料から情報を読み取り、それをもとに意見をまとめることで、思考を深め広げる。	(知)	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について、理解を深めている。	○	○	○	○		24
			(思)	読むことにおいて、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 書くことにおいて多面的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。	○	○		○		
			(態)	積極的に記述から中心主張を捉えて要約し、学習課題に沿って現代における課題を具体的に考え話し合おうとしている。		○	○	○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	単元名【自己と社会】 読む『サッカーにおける「資本主義の精神」』 筆者のノベルサッカーと資本主義の関係について理解し、社会に対する見方を広げる。 探求『資料を活用して論述する』 資料から情報を読み取り、それをもとに意見をまとめることで、思考を深め広げる。	(知)	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 文や文章の効果的な組み方や接続の仕方を理解している。	○	○	○	○		23
			(思)	読むことにおいて、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。	○	○		○		
			(態)	積極的に社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。		○	○	○	○	
					合計	117				

教科・分野：	地理歴史	科目：	地理総合	単位数：	2	指導学年：	3
担当教諭：							
使用教科書	地理総合（実教出版） ----- 新詳高等地図（帝国書院）		副教材				

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解する。地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養わせる。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、世界と日本を広く相互的な視点から俯瞰し、地球的課題に関わる基本的な知識を複数の史・資料を活用し様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味・意義・特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境の相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題把握と解決を視野に入れた構想力、考察・構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力が身に付いている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向け課題を主体的に追究・解決しようとする態度が身に付いており、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の歴史や文化に対する愛着、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてよく自覚している。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考查	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数
1 学 期	中 間 考 査	【第1編地図や地理情報システムでとらえる現代世界】 ・球面と底面 ・緯度と経度 ・国家の領域 ・国家間の結び付き ・モノ・人・情報のグローバル化	(知)	現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解できている。	○		○	○		8
			(思)	現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、根拠を基に判断・表現できている。	○	○		○		
			(態)	世界や地域の諸事象について、地図や地理情報システムを用いて課題を主体的に追求し、多面的・多角的に考察を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○			○		
1 学 期	期 末 考 査	【第2編国際理解と国際協力】 第1章 生活文化の多様性と国際理解 ①地形と生活文化 ・山地・平野・海岸地形 ②気候と生活文化 ・熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯	(知)	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	○		○	○		9
			(思)	世界の人々の特色ある生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		○		
			(態)	世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追求し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	○			○		

2 学 期	中 間 考 査	【第2編国際理解と国際協力】 第1章 生活文化の多様性と 国際理解 ・生活を支える産業の発展 ・世界の多様な宗教 ・世界の多様な民族・言語 ・移民と多文化共生社会の形成	(知)	世界の宗教分布について、地図を読み取り、特徴をまとめることができる。宗教と結び付いた社会の成立過程を理解している。世界の民族分布の特徴を地図から読み取ることができている。	○			○	○		12
			(思)	宗教と結び付きの深い国々の特徴についてまとめ、表などで適切に表現している。	○	○			○		
			(態)	宗教と社会生活の関連について主体的に追求し、課題の解決策を意欲的かつ主体的に考察・構想しようとしている。	○				○		
2 学 期	期 末 考 査	【第2編国際理解と国際協力】 第2章 地球的課題と国際協力 ・人口問題の展開と対策 ・食料問題への取り組み ・エネルギー資源尾開発と限界 ・地球環境問題：地球温暖化 ・地球的課題の解決に向けた国際協力	(知)	人口増加による食料問題の進展を理解している。地球温暖化により引き起こされる災害や社会問題について理解している。	○			○	○		12
			(思)	エネルギー問題と人口増加の問題との関連性を、多面的、多角的に考察している。地球温暖化の影響について、先進国と発展途上国それぞれの立場から多面的、多角的に考察している	○	○			○		
			(態)	世界の食料問題について主体的に追求し、自分との関わりについて積極的に考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。地球温暖化の要因や影響について主体的に追求し、地球温暖化防止のために学習したことを生かそうとしている。	○				○		
3 学 期	学 年 末 考 査	【第3編持続可能な地域づくりと私たち】 第1章 自然災害と防災 ・地震・津波への対策 ・火山災害と対策 ・風水害への対策 ・雪害・高温と対策	(知)	日本で発生する自然災害について、日本の自然環境の特徴と関連付けて理解している。地震や台風などの発生について、地図を読み取り理解している。	○			○	○		4
			(思)	日本の自然環境の特徴と、世界と比較して考察し、適切に表現している。必要な対策について協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。	○	○			○		
			(態)	災害を引き起こす自然環境の特徴について、主体的に追求しようとしている。	○				○		
										合計	45

東京都立八王子桑志高等学校 令和7年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	理科	科目：	生物基礎演習	単位数：	2単位	指導学年：	3 学年
担当教諭：							
使用教科書	高校生物基礎 （実教出版）	副教材	自作のプリントなど				

年間指導目標：

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、科学的な自然観を育成する。生物や生物現象について学び、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験による検証、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

										配当 時数
学期	考查	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	
1 学 期	中 間 考 査	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 1 生物の多様性・共通性 2 生物の共通性と進化 3 細胞	(知)	・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・光学顕微鏡で観察する技能を習得している。	○	○				12
		(思)	・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見だし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。	○	○	○				
		(態)	・生物の共通性を、実験や観察を通して見だし、理解しようとする。 ・原核細胞と真核細胞について、その細胞に含まれる細胞小器官を基に、違いを理解しようとする。		○	○	○	○		

[illegible]

2 学 期	期 末 考 査	4章 生物の多様性と生態系 3節 生態系と生物の多様性 1 生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全 1 生態系のバランス 2 人間生活による環境への影響	(知)	・生態系内における多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。	○	○				16
		3 生態系の保全の重要性 2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 1 遺伝子の本体 2 DNAの複製と分配	(思)	・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。 ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。	○	○	○			
			(態)	・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて説明できる。 ・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。		○	○	○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	2章 遺伝子とその働き 2節 遺伝子とタンパク質の合成 1 遺伝子とタンパク質 2 タンパク質の合成 3 遺伝子の発言 4 ゲノムと遺伝子	(知)	・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。		○				22
			(思)	・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。		○				
			(態)	・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。		○		○	○	
									合計	78

東京都立八王子桑志高等学校 令和8年度 年間指導計画(シラバス)

教科・分野：	保健体育	科目：	体育	単位数：	3	指導学年：	3
担当教諭：							
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材					

年間指導目標：
① 生涯にわたって活用する運動の技術を身に付けるとともに、自主的、かつ計画的に運動する基礎をつくる。
② スポーツを通じ、競技の意義を正しく理解し、公正な態度と協力しあう意識を養う。
③ 興味・関心を基に種目を選択することにより、学習意欲を継続する。

評価規準	知識・技能(知)	思考力・判断力・表現力(思)	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力(態)
	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数
1 学期	中間 考査	オリエンテーション 体力テスト 体づくり運動 体育理論	(知)	【1単位】 馴染みの少ないスポーツに積極的に関わり、技術などの名称や行い方、課題解決の方法や協議会の仕方などについて理解している。 【水泳】 技術の名称や行い方などについて理解するとともに、複数の泳法で安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。		○	○			18
		【1単位】 ・ソフトバレーボール ・ミニテニス ・ターゲットバードゴルフ (上記のうち1種目選択)	(思)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		○		○		
1 学期	期末 考査	【2単位】 ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・サッカー ・フットサル ・ソフトボール ・ハンドボール ・テニス ・アルティメット (上記のうち1種目選択) 水泳	(態)	学習に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。				○	○	18

2 学 期	中 間 考 査	水泳 【1単位】 ・ソフトバレーボール ・ミニテニス ・ターゲットボードゴルフ (上記のうち1種目選択) 【2単位】 ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・サッカー ・フットサル ・ソフトボール ・ハンドボール ・テニス ・アルティメット (上記のうち1種目選択) 体育理論	(知)	【2単位】 ・ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。		○	○			24
2 学 期	期 末 考 査		(思)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		○		○		24
3 学 期	学 年 末 考 査		(態)	学習に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。			○		○	33
合計										117

東京都立八王子桑志高等学校 令和8年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	英語科	科目：	英語コミュニケーションⅢ	単位数：	4	指導学年：	3
担当教諭：							
使用教科書	BIG DIPPER English CommunicationⅢ（数研出版）		副教材	英単語・熟語 Bricks1（いいずな書店）、リスニング問題集Listening Laboratory Standard α（数研出版） BIG DIPPER ENGLISH CommunicationⅢ ワークブック（数研出版）			

年間指導目標：

・まとまった量の英文を読み、ポイントをつかむことができる力を養う。<Reading>・まとまった量の英文を聴き、場面や内容をつかむことができる力を養う。<Listening>・与えられたテーマに対して、自分の意見を5文以上、50-60語程度の英語で書くことができる力を養う。<Writing>・自身の考えを英語で口頭表現することができる力を養う。<Speaking>

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	英語の音声や語彙、表現、文法、等の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現できている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。また、小テストに向けての事前学習や提出物等提出に対して、真摯に向き合うことができている。

評価方法											配当 時数
a:定期考査		b:パフォーマンス (実技・実習・課題)		c:小テスト等		d:提出物		e:授業態度			
学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準		a	b	c	d	e	
1 学期	中 間 考 査	Lesson4 The History of Ekiben Lesson5 Three Tips for Maintaining a Conversation	(知)	本文中の語彙の意味や、Tips for Reading の理解を基に、本文の内容を読み取る技能を身につけている。		○	○	○	○		24
			(思)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。		○	○	○			
			(態)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。			○	○	○	○	
1 学期	期 末 考 査	Lesson 7 Online Word-of-Mouth Lesson 9 Hot springs Lesson10 Kintsugi	(知)	本文中の語彙の意味や、Tips for Reading の理解を基に、本文の内容を読み取る技能を身につけている。		○	○	○	○		24
			(思)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。		○	○	○			
			(態)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。			○	○	○	○	

2 学 期	中 間 考 査	Lesson11 Art on display	(知)	本文中の語彙の意味や、Tips for Reading の理解を基に、本文の内容を読み取る技能を身につけている。	○	○	○	○		32
		Lesson14 A New Orchestra	(思)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○	○	○			
		Lesson15 Instant Replay in Sports	(態)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。		○	○	○	○	
2 学 期	期 末 考 査	Lesson12 Anger management	(知)	本文中の語彙の意味や、Tips for Reading の理解を基に、本文の内容を読み取る技能を身につけている。	○	○	○	○		32
		Lesson16 Human Society and Infectious Diseases	(思)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○	○	○			
		Lesson18 The shoe That Grows	(態)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。		○	○	○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	Lesson21 Having a Discussion	(知)	本文中の語彙の意味や、Tips for Reading の理解を基に、本文の内容を読み取る技能を身につけている。	○	○	○	○		44
		Lesson22 Writing a Summary	(思)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。	○	○	○			
			(態)	本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。本文の内容に関する話題について、学習した語句などを用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。		○	○	○	○	
									合計	156